

ふーお通信



Vol.190発行 2021年11月1日

<http://www.mpc-kodomo.sakura.ne.jp/fukurou/>

いつまでも暑さが残る秋かと思えば、一挙に冬を迎えたような気候となりました。
秋晴れの日や、めぐみの秋の深まりを食や書物やスポーツ・芸術で楽しみたいものです。

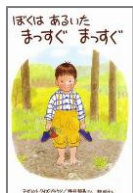
ご連絡ごとはこちらへ。
TEL0858-22-0351

今月のおすすめ



『たったひとつのドングリが』
作：ローラ・M・ジェファー アダム・シェファー
絵：フラン・プレストーン・ガノ

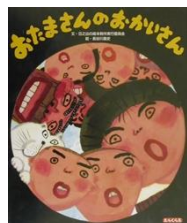
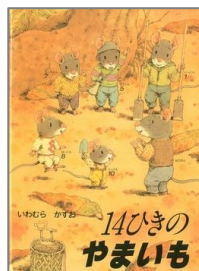
ひとつのどんぐりが、地面に落ちて、芽が出てやがて木になりました。生態系をはっきりした絵と、短い言葉で伝えています。今私たちにできることを、考えさせられる1冊です。



『ぼくはあるいたまっすぐあるいた』
著：マーガレット・ワイズ・ブラウン
絵：林明子

まっすぐ行ったらおばあちゃんのおうち。川や丘も突き抜けて、ただひたすらまっすぐまっすぐ！
ちゃんとおばあちゃんのお家に着きました。

おいしい秋みつけた



しばらくの間Rホールでの乳幼児親子の読み聞かせ会はおやすみです

《はたこうしろうさん講演会》

10月31日倉吉市立図書館で、はたこうしろうさんの講演会がありました。絵本を通して子どもの世界を生き生きと描くはたさん。子ども時代のワクワクした心を忘れかけていた私たちに、子ども心をくすぐる遊びを思い出させてくださいました。
子どもの自由な発想をそれでいいよと受け止め、たくさんの生きた体験を子どもたちにさせてあげながら、子育てを楽しみたいと思いました。



「かしこく食育」

管理栄養士 石賀安枝さん 日本海新聞連載中です。

「鍋でごはんを炊く」
前回の連載にでていた「循環備蓄品」お米ゆで卵をゆでると同じくらい簡単にお鍋でご飯を炊けるなんて。炊飯器選びより、お米選び。



絵本のある生活を

「ほん よんで～」

ママのおひざは特等席。その座を狙って、我先にと本箱をあさる子どもたち。本棚の本は、表紙を見なくても、背表紙だけで気に入った本がわかる様子で、ひよいと抜いて持ってきます。ママの声の響きや、日本語のリズミカルな響き、繰り返されることば、耳に覚えのある言葉、子どもたちの心の中に絵を通してドラマのように流れていくんだろうなあと思ひながら、絵本を食い入るように見ている孫の顔に癒されています。

自分が小さいころを振り返ると、絵本を読んでもくれたおじいちゃんやおばあちゃん、そんなにも読むのが上手ではなかったし、どちらかと言えば、つまったり、棒読みだったりして下手な方。

でも、孫の私はその時間が大好きで、自分から絵本をもっておひざの中に入れていったものです。その感覚は風化せずに残っています。あなたの特等席で、絵本の時間を！！

by たんたんばあば

